

会議の名称	平成 31 年度(令和元年度)第 2 回福津市郷づくり推進協議会代表者会議	
開催日時	令和元年 7 月 23 日(火)14:00～15:35	
開催場所	市庁舎別館 1 階大ホール	
委員	<b>【出席者】</b> 勝浦 :新海悦生、荻原哲夫 津屋崎:山脇清、御厨忠男 宮司 :坂根康廣、藤山昇 福間 :佐伯美保 神興 :富松享一、山西祐司 上西郷:今里幸和 神興東:奥弘子、樋口英典 福間南:石橋和義、山本正則	
専任事務局員	<b>【出席者】</b> 花田孝信、大神常男、廣渡策生、石田美香、水上清香、中里恵子、古里美津子	
職員	羽田野防災安全課長、松尾安心安全まちづくり係長、竹田安心安全まちづくり係員	
事務局	花田地域振興部長、辻郷づくり支援課長、徳永郷づくり支援課郷づくり支援係長、津山郷づくり支援課郷づくり支援係員	
会議	内容	1. 部長あいさつ 2. 依頼・説明事項 (1) 戸別受信機の設置について 3. 意見交換 (1) 郷づくり単位での自主防災組織の活動について (2) 郷づくり計画における新たな取り組み等について 4. その他
	配付資料	<input type="checkbox"/> 平成 31 年度(令和元年度)第 2 回福津市郷づくり推進協議会代表者会議 次第 <input type="checkbox"/> 戸別受信機の設置について(お願い) <input type="checkbox"/> 第 34 回 福津市ささえ合い協議体

## 会議内容(要点)

### 1. 部長あいさつ

花田地域振興部長があいさつを述べた。

### 2. 依頼・説明事項

#### (1) 戸別受信機の設置について

防災安全課が、各郷づくり推進協議会の拠点に戸別受信機を設置することについて説明した。

#### (防災安全課)

緊急時の情報伝達手段の一つとして整備した防災行政無線設備を補完する機器である戸別受信機について、自治会を基軸として、各種団体と密接に連携しながら、共働のまちづくりを目指している各郷づくり推進協議会の拠点に設置することとした。

#### (委員)

協議会として戸別受信機で情報を入手しても、知らせる手段がなく、情報を聞くだけで終わってしまうが、この点についてどのように考えているか。

#### (防災安全課)

自治会長宅にも戸別受信機を設置しており、拠点についても同じ情報を提供しようとするためのもので、拠点から情報を発信してもらうための設置ではない。

#### (委員)

最も情報を必要としている高齢世帯に、屋内、屋外を問わず情報が届くようにどうするかを考えていただきたい。

発信機に工夫をして必要な世帯全てに戸別受信機を安価に設置できる行政サービスを、すでに行っている他の自治体の例も参考に実施していただきたい。

#### (防災安全課)

発信機に工夫をすることで安価に戸別受信機を設置できるということについては、調査をさせていただきたい。

#### (郷づくり支援課)

早めに避難が必要な高齢者、障害者の担当部署と連携して、いかに早く情報を届けることができるかを考えていきたい。

#### (委員)

岡垣町は全世帯に戸別受信機を設置しているようなので、調査の後、報告していただきたい。

#### (防災安全課)

調査をして、ご報告します。

### 3. 意見交換

#### (1) 郷づくり単位での自主防災組織の活動について

#### (会長)

福間南郷づくりは郷づくり単位での防災組織を設置しておらず、今後立ち上げを考えているため、他の郷づくりの活動を参考にさせていただきたい。

(勝浦地域郷づくり)

自主防災会を設置しており、6集落の自治会長を支部長としている。全市一斉防災訓練の際にタオル掛けなどの第一次訓練や防災体験といった第二次訓練を行っている。

(津屋崎地域郷づくり)

全自治会に個別の防災組織を持っている。自治会単位で必要かとの意見もあるがご理解いただいている。防災訓練の際の市の指定避難場所の運営については郷づくりも携わっている。

(宮司地区郷づくり)

平成23年12月に宮司地区自主防災会を発足した。体系としては宮司地区全体を統括する全体会、そして各自治会単位、各組単位の防災会という組織作りをしている。活動内容は平常時、災害時の2通りに分けて、それぞれテーマを設けて防災訓練を行っている。

(福間地域郷づくり)

平成30年3月に郷づくりとしての自主防災会を設置している。昨年度は福間小学校の体育館で防災フェスタを開催した。各自治会に自主防災組織があったほうが、平常時の予防、災害時の連携等においては良いのではと考えている。

(神興地域郷づくり)

郷づくりとして自主防災組織は設置していない。全市一斉防災訓練についても各自治会に任せている。各地域で色々な事情があり、指定避難場所も3ヶ所に分かれているので、郷づくりでとりまとめて一つの拠点で防災訓練を行うのは難しいところがある。今後も防災意識を高める投げ掛けを各自治会に行っていこうと考えている。

(上西郷地域郷づくり)

郷づくり、各自治会とも自主防災組織は設置していない。市の一斉防災訓練については各自治会に周知している。

(神興東地域郷づくり)

平成27年度に神興東として自主防災会を立ち上げている。今年度は6月に会議を開催した。今のところ全市一斉防災訓練に向けての活動が主な活動になっている。今年は防災に特化した部会を立ち上げる予定があるので、連携して進めていこうと考えている。

(福間南地域郷づくり)

17自治会のうち9自治会が自主防災会を持っている。郷づくりが取り組むもの、自治会が取り組むものは同じではないため、郷づくりとしてどのような組織作りを行ったらよいか迷っているところである。全体の啓発、市の避難場所の運営に特化しても良いのかとも思っているが、検討して立ち上げていきたいと考えている。

(会長)

市の一斉防災訓練の際に自治会に加入していない方の状況を把握されているところはあるか。

(委員)

自治会長に自治会に入っていない方の状況把握までは要望していない。未加入者に対しては、色々な行事の中で人間関係を構築し、自治会に加入してもらう努力は行っている。

(会長)

実際に災害が起こった場合、自治会に加入、未加入に関係なく被害が出るが、市の一斉防災訓練が自治会加入者だけでなく、本当に市全体のものになっているのか疑問である。市はどの

ように考えているか。

(防災安全課長)

訓練の実施については自治会加入、未加入の区別はしていない。広報やホームページにおいても周知しており、全市民を対象としている。

(委員)

市のほうで未加入者のデータは持っているのか。

(郷づくり支援課)

自治会アンケートで自治会加入世帯数の調査は行っているが、未加入世帯の把握はしていない。

(委員)

避難行動の要支援者名簿をどこの自治体も持っていると思うが、名簿の貸し出しなど、福津市はどの程度準備が出来ているのか。

(防災安全課)

災害対策基本法に基づく要支援者名簿は持っている。実際に災害が発生した場合は法律に基づいて貸与可能となるが、平時においては本人の同意が必要となる。

(会長)

いざ災害が起きたときには弱者だけではなくて、自治会に加入、未加入に関係なくどういった人が被害に遭うかわからない。そのような防災の観点から地域に住んでいる人の名簿の貸与はできないのか。

(防災安全課)

災害対策基本法の中では、発災時で緊急を要する場合には、避難行動要支援者の名簿を本人の同意なく提供できるとされているが、平常時に住民基本台帳による名簿を貸与することは難しい状況である。

(委員)

有事の際における、郷づくりの枠を超えた学校との連携、消防団との連携について行政はどのように考えているのか。

(防災安全課長)

市内には防災士の資格を持つ人が108人いる。その他にも防災の知識や経験がある人も多くいるので、現在協議中の防災推進員を含めて地域でのネットワーク作りを進めていきたいと考えている。

(委員)

津屋崎、宮司、勝浦地域は津屋崎中学校と連携して今まで取り組んできた。小学生は保護される立場、中学生は地域の自立した戦力という理解で連携してきた。市からの連絡待ちの姿勢では災害が起こったときに、何も手が出せなくなるので、郷づくりとして住民と学校、保護者を巻き込んでどうするか考えていかないと厳しいと考える。

(2) 郷づくり計画における新たな取り組み等について

(会長)

今年各郷づくりで郷づくり計画を策定されております。その中で、新たな取り組みについて教えていただきたい。

(勝浦地域郷づくり)

年内に郷づくり交流センターができる予定なので、そこをコアにしたサロン活動が新たに出てくるだろうと考えている。地域の人的課題、買い物困難者や空き家の増加といった課題にあった計画になっている。

(津屋崎地域郷づくり)

環境部会で松林の草刈りを行ってきて、すばらしい安全な松林になったことから、そこで森の美術館をやることになった。また津屋崎千軒の賑わいをもう一度見直して、その価値を未来に繋げるために準備をしていきたいと考えている。

(宮司地区郷づくり)

今年4月から宮司コミュニティセンターの指定管理を受けたことから、地域に開けた施設にするために貸室だけではなく、月に2回歌声喫茶を開催している。また11月に地域で芸術活動をしているかたに展示やイベントを行っていただく文化祭を計画している。

(福間地域郷づくり)

郷づくり全体で行う活動では、既存の4部会にない取り組みを広げるため、新しい地域の芽を見出し、育てる仕組みづくりを行っていかうと考えている。環境景観部会では、福間の歴史の語り継ぎや街並みの環境美化、安全安心部会では地域の安全点検と西郷川に親しむプロジェクト、子育て分野では、子どもの権利や育ちについての学習、また遊びについて学ぶプレイセンターの立ち上げを考えている。

(神興地域郷づくり)

新たな取り組みはなく、今までの部会を継続してやっていくことを重点的に考えている。高齢化が進んでおり、いかに今の4部会を続けていくかが大切なことと認識してやっている。

(上西郷地域郷づくり)

新しい計画はないが、昨年秋にオープンした郷づくり交流センターを使った事業を考えている。

(神興東地域郷づくり)

重点的に新たに取り組む項目として、郷づくりに関わっている役員や部会員の高齢化解消のための新たな人材発掘に取り組んでいる。昨年9月に郷づくり交流センター「ふれあいじんと」がオープンしたので、センターにくるきっかけとなるよう女性の方を中心に楽しめる企画を考えている。また自治会訪問を行い、郷づくりについての説明や要望等を聞き取り、自治会と協働で取り組む事業に繋げていきたいと考えている。計画の達成度を短期、中期、長期に分けて検証していく予定である。

(福間南地域郷づくり)

スポーツと文化の郷ということでスポーツのイベントを通じて新たな人材発掘に繋げていかうと考えている。また文化事業では文化展の開催を計画している。高齢化が進んでいるので、若い方の参加を模索しているところである。

#### 4. その他

事務局から第34回福津市ささえ合い協議体チラシの案内